

ひろかねかなくち

# 広兼金口地区都市再生整備計画

 第4回まち交大賞  
 テーマ賞

ダムによりまちを衰退させないための中心地の活性化、機能強化



全体整備イメージ



地域の小学生が遊具の選定をした金口公園



福富地域交流センターのイベントホール



道の駅「湖畔の里福富」開業の様子



多数の来訪者で賑わう道の駅

## 事業段階毎のポイント

### Plan 計画策定時のポイント

#### ～住民参加・住民の意向を踏まえた計画づくり～

- 公園、地域生活基盤施設(広場)、高次都市施設、その他関連事業からなる地域交流センター全体として認定手続を行っていた「道の駅」の名称を公募により決めたこと、また、「道の駅」内に整備する大型遊具の選定を地域の小学生約1,000名を対象としたアンケートにより行ったことによって、地域の方に親しみのある、まちに溶け込んだ施設計画を策定出来た。

### Do 事業実施中のポイント

#### ～毎年の評価により計画修正をしながらの施設整備～

- 各種事業を円滑に推進し、目標達成に向けて確実な効果が得られるよう地域審議会を開催し、毎年の事業成果に対する評価や次年度事業の進め方などについて意見交換や検討を行い、時代の変化や需給バランスに配慮した施設計画を見直すなど、より利便性が高く利用しやすい施設整備が出来た。

### Check 事業評価時のポイント

- 計画した全てのハード整備が完了し、町中心部の機能強化、地域振興、環境意識の向上といった従前の課題について一定の成果が得られたが、地域来訪者数が当初見込みを大幅に超えたことにより、周辺道路の渋滞という新たな課題が発見出来た。

### Action 今後のまちづくりへの反映

- 「道の駅運営協議会」を持続・発展させながら地域情報発信、体験学習等の推進、地場製品の販売などによる地域振興・地域活性化を図っていく。



## 事業の位置付けや背景

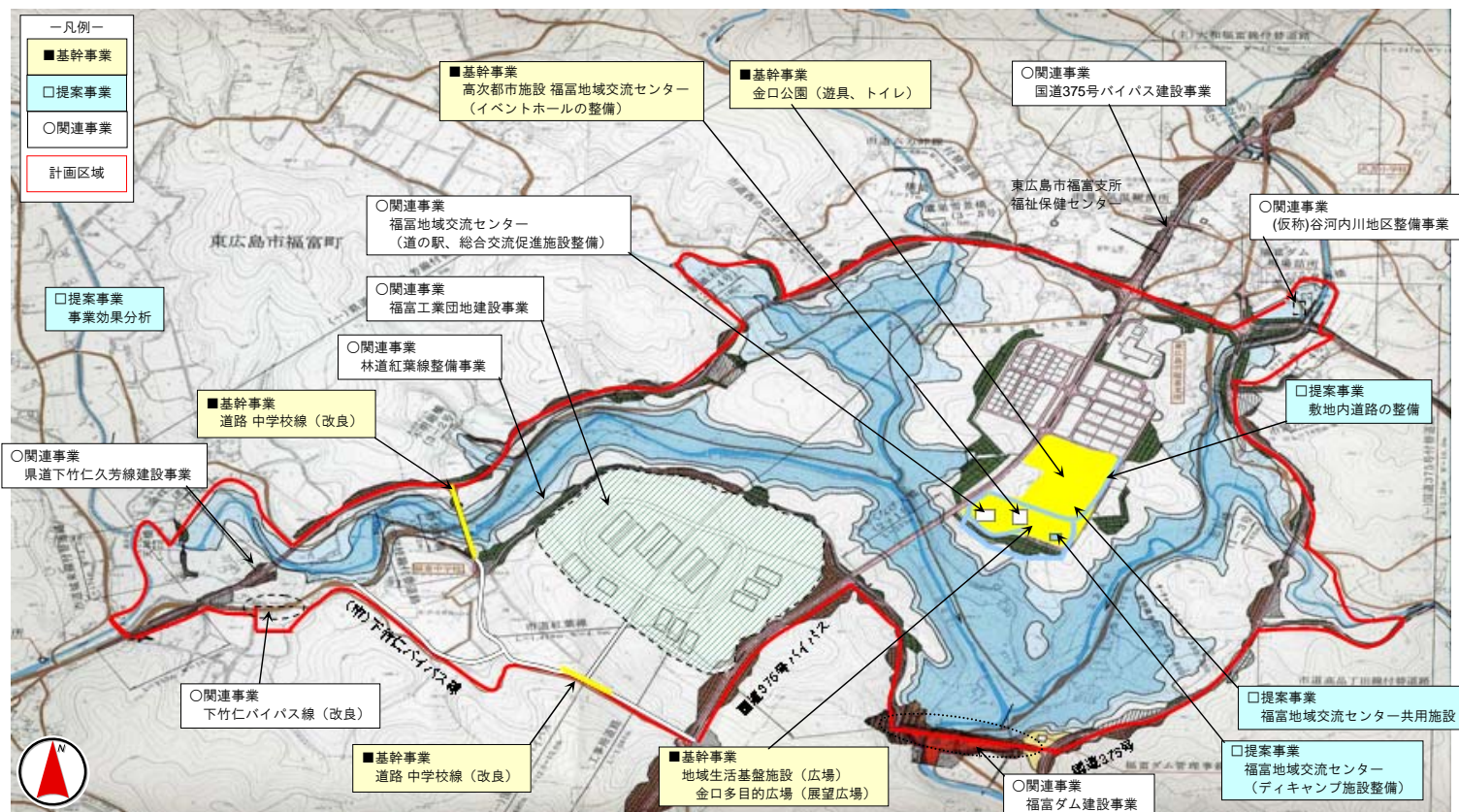
本地区は、二級河川沼田川の最上流にあたる水源地域であり、平成20年度を完成予定とした県営福富ダムの建設が進められる中、ダム建設によって国・県道を含む町の中央部が水没し、地域が分断されることから、道路アクセスや土地利用の問題など、町民生活に与える影響は著しく多大となっていた。

そこで、ダムによるまちの分断を防ぎ、逆にダムを活かした賑わいのあるまちづくりを行うものである。

## 地区等の問題点・課題

- ・ダムによりまちを衰退させないための、住民の憩いの場づくり、観光・交流の場づくりとこれらをつなぐアクセス道路整備により、中心地の活性化や機能強化を図ることが最重要課題である。
- ・ダム周辺には交流の拠点となる施設が全くない状況であり、利用できる限られたスペースを有効活用した施設整備を図り、地域の活性化に結び付けていく必要がある。

## 整備概要図



## 事業の目標・整備方針

### 【目標】

福富ダム建設に伴った町中心部の再生強化と都市・水源地域との交流拠点の創造

- ・国道375号バイパスを核としたアクセス機能を充実強化し、交通利便性・安全性の向上を図る。
- ・水源地域としての特性を活かした地域住民の憩いの場、多様な交流の場を創出し、地域の振興を図る。

### 【整備方針】

- ①町中心部へのアクセス強化と安全性の確保
- ②地域住民の憩いの場と観光資源の創造
- ③都市と水源地域の交流による地域活性化

## 事業内容

### ■事業計画諸元

- 事業名：広兼金口地区まちづくり交付金事業
- 事業主体：東広島市
- 位置：東広島市福富町久芳、下竹仁
- 総事業費：約998百万円
- 事業概要
  - ・地区面積：195ha
  - ・計画期間：平成16年度～平成20年度
  - ・構成事業：

### 【基幹事業】

- ◆道路(1路線、L=80m)
- ◆公園(1箇所、A=4.9ha)
- ◆地域生活基盤施設(広場1箇所、A=150m<sup>2</sup>)
- ◆高次都市施設(地域交流センター)

### 【提案事業】

- ◆地域創造支援事業
  - ・デイキャンプ施設(A=54m<sup>2</sup>)
  - ・交流センター敷地内整備(道路、上下水道、雨水排水路など)
- ◆事業活用調査(事業効果分析)



## 主な事業の実施内容

### ■福富地域交流センターディキャンプ施設整備（ディキャンプ場、敷地内道路、共用施設）

- ・地域交流センター内にディキャンプ施設、敷地内道路、その他共用施設を整備した。まちづくり交付金事業により、これまでの補助制度では難しかった各事業間の隙間を埋める事業を行うことが出来た。
- ・ディキャンプ施設は、福富ダムの景観を眺めながら、関連事業で整備した交流館（地場農産物等販売所）で購入した地場農産物等を味わうことができる施設であり、道の駅の特徴を活かし、施設全体の魅力アップに大いに貢献している。



福富地域交流センターディキャンプ施設



交流館内の地場農産物販売所

### ■金口公園の整備

- ・金口公園に整備する遊具は、地域の小学生約1,000人を対象にアンケート調査を行って選定した。これにより、地域の方により親しみを持ってもらえる施設整備ができた。



- ・子供が「私のが選ばれたのか？見に行きたい!!」と言うので、実際に見にいきました。子供は喜んで楽しく遊んでいました。
- ・このように、地元住民や市民の意見を聞きながら（取り入れながら）事業を進められた事を大変嬉しく感じています。

公園遊具に関する住民から頂いたご意見・ご感想



地域の小学生の意見を反映して整備した金口公園の遊具

### ■施設整備と連携したその他の取り組み

#### ◇「すいすい倶楽部」の発足

- ・ダム建設を前向きに捉え、水源地域として下流地域との交流を推進するまちづくり団体「すいすい倶楽部」が発足し、下流地域と連携し植林活動をはじめとする様々な環境活動を通じ、水源地域として水の大切さ、自然の大切さを伝える活動をしている。
- ・地域の小学校も環境学習会を頻繁に行っており、地域全体で環境意識の高揚を図る活動をしている。



竹仁小学校環境学習会



すいすい倶楽部植林活動

#### ◇ドライブマップの作成

- ・観光振興協議会にて、道の駅「湖畔の里福富」周辺のドライブマップを作成し、地域の観光資源等を紹介することにより、道の駅来訪者が他の観光資源を周遊する事による地域全体の活性化を図る。



東広島すいすいドライブマップ

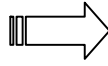
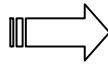
## 事業効果

### ■計画に記載した数値目標の達成状況

目標を定量化する指標	整備前 (H16)	目標値 (H20)	評価値
指標1 交通所要時間 [分]	10 ⇒	3 ⇒	3
指標2 通学路の歩道設置延長 [m]	0 ⇒	1,730 ⇒	1,730
指標3 地域来訪客数 [人/年]	50,000 ⇒	150,000 ⇒	631,026
指標4 地域住民の施設利用率 [%]	15 ⇒	50 ⇒	89
指標5 庁内交流施設との相互周遊客数 [人/年]	0 ⇒	50,000 ⇒	195,618
指標6 環境学習回数 [回/年]	2 ⇒	20 ⇒	66

### ■課題の改善状況

- ・ 区内内の道路整備により、通学の安全性が確保されるとともに、町中心地へのアクセスが向上し、町中心地の機能強化が図られた。
- ・ 今回整備した「道の駅」のみならず、周辺施設を含めた地域全体の来訪客数が大幅に増加し、地域全体が活性化している。
- ・ ダム建設を契機として、水源地域としての特性を活かしたまちづくりを推進し、地域住民の環境問題に対する理解と環境学習参加の輪の拡大に貢献している。



### ■残された未解決の課題

- ・ 区内内の道路は整備されるが、それにつながる地区外の道路整備が十分ではないため、他地区からのアクセスに課題が残る。
- ・ 周辺施設への周遊客数が多数認められ目標は達成しているものの、アンケート調査の結果、周辺施設の認知度不足が明らかになったため、観光資源の周知活動を強化する必要がある。

### ■新たな課題の発見

- ・ 「道の駅湖畔の里福富」への来訪客数が多く、土日祝日に国道、県道が渋滞しており、円滑な交通処理を検討する必要がある。
- ・ 駐車場が不足して長時間待機せざるを得ない状況にあるため、適切な情報の提供、案内や臨時駐車場の確保等を行う必要がある。
- ・ 「道の駅湖畔の里福富」の来訪者の中で、福富地区の他の観光交流施設を知らない人が多く、福富地区及び東広島市北部地域の観光情報の案内を強化する必要がある。

### ■事後評価後に改善した点

- ・ 国道375号バイパス及び県道下竹仁久芳線の部分供用開始、駐車場追加整備を行った結果、国道375号の交通渋滞は解消された。
- ・ 事業完了後に案内板追加、周辺施設パンフレット作成、施設ホームページ作成などソフト面の充実を図った。

### ■今後の課題

- ・ 生涯学習活動の道の駅利用率を更に向上させるため、関係機関への周知を図る。
- ・ バイパスは部分供用のため、更なるバイパス改良を推進し、地域外からのアクセスの強化を図る。
- ・ 整備した駐車場の利用率が下がらないように、継続的な地域来訪客確保を図る。

## 今後のまちづくりの方策

### 1. 観光交流の促進

- ・ 市内の他の観光交流施設との連携を促進し、来訪客数の増大と区内消費の拡大による地域活性化を図る。

### 2. 地域における生涯学習活動の推進

- ・ 地域住民の交流や活動が持続するよう、「道の駅湖畔の里」の各施設を活用した地域住民の生涯学習活動を推進する。

### 3. 地区外からのアクセス強化

- ・ 地区外からよりスムーズに「道の駅」へ訪れてもらえるよう、道路整備を推進する。

### 4. 「道の駅」周辺道路の円滑な交通処理

- ・ 「道の駅」完成による来訪者数の増加に駐車場不足も重なり、周辺道路において渋滞が発生しているため、バイパス整備を促進するとともに、案内板の設置や臨時駐車場確保などを行う。

### 5. 観光情報の案内強化

- ・ 「道の駅」周辺の観光資源をより多くの人に認知してもらい、「道の駅」を核として多くの人が市北部の観光資源を周遊するように、観光パンフレットや案内板、連携イベント等のソフト面の強化を図る。